

セルフスタンドを 安全に利用するには？



ドライバー自身が給油するセルフ方式の給油取扱所(セルフスタンド)は、年々設置箇所が増え、身近な存在となっています。給油が安全に行われるように安全装置付きの機能が設けられるとともに、危険物取扱者が十分に監視等を行っていますが、取扱方法を誤ると思わぬ事故につながります。以下の点に十分注意して、安全な給油作業を心がけましょう。

1 エンジン OFF!

白線などで示された場所に停車し、必ずエンジンを停止しましょう。

3 静電気除去シートにタッチ

給油前には必ず「静電気除去シート」に触れ、体に溜まっている静電気を取り除いてから自動車の給油口キャップを開けましょう。



2 油種の確認!

給油する自動車に適した油種を確認しましょう。

※ハイオク(E)およびレギュラー(E)はエタノールを10%含有するガソリン等。



4 正しい操作で給油を!

給油ノズルを止まるところまで差し込み、給油ノズルのレバーを止まるところまで確実に引いて給油を行います。

5 注ぎ足し給油をしない!

満タンになると自動的に給油は停止します。この後に注ぎ足し給油をすると燃料が給油口の外に吹きこぼれることがあります。危険です。

6 給油口キャップの置き忘れ注意

給油口キャップを閉め忘れたまま走行すると、給油口から燃料や蒸気が漏れるおそれがあります。危険です。

! 不明な点があれば、インターホンで監視者に問い合わせましょう。